

岐阜県立恵那農業高等学校

学校長 水野 泰孝

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

1 会議名 恵那農業高等学校 学校運営協議会 (第1回)

2 開催日時 令和6年6月10日(月)

3 開催場所 恵那農業高等学校

4 委員 ○大宮 康一 岐阜大学地域協学センター准教授
○臼田 浩通 岐阜県立国際園芸アカデミー教授
○岡庭 隆 保護司
○小椋日南恵 えな「たべる」プロジェクトアドバイザー
○楯 博子 恵那市立恵那西中学校長
○伊藤 政之 恵那市立大井第二小学校長
○田中 沙織 卒業生保護者
○丸山 鮎美 在校生保護者

学校側	水野 泰孝 校長	丹羽 建一 教頭
	矢島 博光 事務長	水野 歩 教務主任
	野々目佳世 進路指導部長	河島 隆浩 生徒指導部長
	今井 章文 特別活動部長	野村 祐作 農場長

5 会議の概要(協議事項)

- ・授業の参観
- ・学校運営の方針について
- ・教育指導の重点及び学校経営計画に関する事項およびスクールポリシーについて
- ・学習活動、進路指導、生徒指導、農場部に関する事項
- ・スクールミッション策定に係る意見聴取について

委員意見

①令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画について

- ・生徒の評価について分析と理解をより深め、生徒のためになる学校づくり環境整備につなげてほしい。
- ・本校の活躍する生徒の姿を見て、地域の中学生・保護者からは注目を浴びている。本校の教育や進路状況など、より積極的に広報していく必要がある。

②学習活動に関する取組について

- ・高校を卒業した現代の学生は、知識はあっても、「きゅうり栽培で土壌のpHが5の時どう対応するの？」など実践的な問いには答えられない。自分ごととして学んでいるか。場面として困らないと本当の学びにならない。教え込むというより、具体的

な場面を想定し、自分ごととして学ぶ機会を与えてやる必要がある。

③進路指導に関する取組について

- ・税理士として、地元の企業と関わっているが、このところの話題は賃上げ。高校生を採用したいが、就職する生徒が少なくて人の奪い合いになっている。特に本校の生徒を採りたいという企業は多い。

④生徒指導に関する取組について

- ・世間では、個別最適化教育などと言われ、何でも先回りしてハードルを取り除いてしまうようなところがある。コミュニケーションの力などは現実の生活で身に付けていなくてはならない。

⑤農場部に関する取組について

- ・先生方が「1 研究・1 イベント・1 連携」で、やっていることが地域でも評価されている。恵那市の会議で、これからの恵那市をどうするかという話になると、必ず本校の話が出てくる。これからも若い人が公の場へ出る機会を持って欲しい。
- ・小学校としては、交流学习（やさい名人、食育授業）に感謝している。小学校は多様な他者との交流を推進しているが、高校生にとっても大事なことだと考える。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の学校運営方針について承認を得られた。本校の学習は地域との連携が重要で、本物・現場を通して学ぶことが大事であり、成果が地域で評価されているという意見が多かった。

恵那農高が地域に必要とされているという意見を多くいただいた。こうした意見をもとにスクールミッション策定に臨みたい。